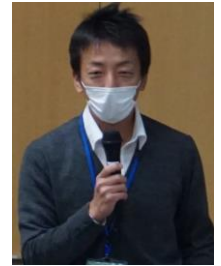


西神ニュータウン研究会 会報

第215号 2022年1月

■第215回例会記録

- ・日時 2021年12月8日(水) 18:30~20:20
- ・場所 ユニティ セミナー室4
- ・テーマ 「里山暮らしというライフスタイル ~都市に近い神戸の里山の魅力~」
- ・講師 川崎 敬之 氏
(一般財団法人 神戸農政公社 里山農村地域振興本部 振興部長)



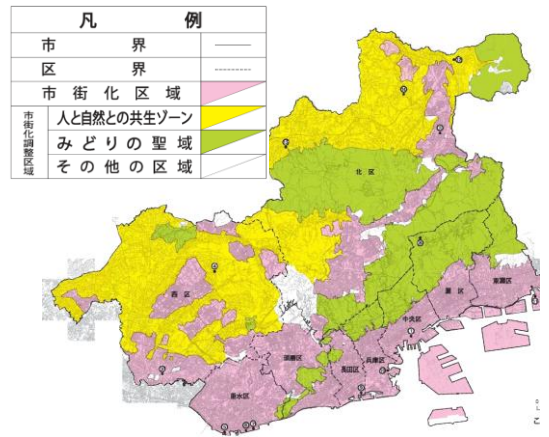
◆報告概要

☆神戸市の状況

- 人口 1,527,022人 (令和2年国勢調査) 減少傾向にある。(前回国調より10,250人減少、0.7%減)
- 農家人口 昭和55年7,277戸→平成27年5,985戸 (35年で38%減)
- 農地 昭和55年5,767ha→平成27年5,167ha (35年で10%減)
- 農業生産 近畿で第4位 159億円 多彩な農業生産が特徴。
野菜63億円(キャベツ5,900t等)、畜産54億円(神戸ビーフ2,300t等) 米など27億円、
花10億円(神戸リリィ130万本等)、果樹5億円(梨700t・ぶどう600tなど)

☆農村地域の法規制

- ・市域=都市計画区域 55,727ha 内、市街化区域 20,364ha、
市街化調整区域 35,363ha
内、緑の聖域 15,204ha、人と自然との共生ゾーン 17,961ha
- ・都市計画法 …農村地域のほとんどは、市街化調整区域。
市街化調整区域で建築できる建物は、
農家住宅と農業用施設、世帯分離住宅、学校・公民館などの
公益施設、日常生活に必要な店舗(小規模物販店等)、
ドライブイン、里づくりの拠点施設(農産物直売所等)
などに限定されている。
- ・農振法(農業振興地域の整備に関する法律)
農業振興地域…農業の振興を図るべき地域。県が指定
- ・農地法 農地を農地以外にすることを規制 農地の売買・賃借等には農業委員会の許可が必要
- ・共生ゾーン条例(人と自然との共生ゾーンの指定等に関する条例)…神戸市独自の条例
【目的】 秩序ある土地利用の推進 ⇒⇒⇒農村用途区域の指定
美しい農村景観の保全と形成 ⇒農村景観保全形成地域の指定
地域住民による主体的な活動 ⇒里づくり協議会と里づくり計画…集落毎に協議会を設置する
都市計画法では規制できない土地利用の規制が発端。
その後、人口減少・高齢化・農業者減少・空家増加・移住希望者増加等の社会経済情勢の変化を受け、
規制緩和による地域活性化策を推進…平成27年都市計画法開発許可運用基準改正
平成28年共生ゾーン条例改正



☆農村地域住民へのアンケート調査…平成30年4月里づくり協議会対象に実施

- ・「移住者の受け入れについて」は98%が賛同。「農家レストランやカフェ」については98%、「農家民泊や民泊施設」については95%が賛同。ただ、6割前後は「地域のしきたりを守るなら」と条件付き。
- ・人口減少に歯止めをかける策…①仕事場・農業収入の安定化策 ②里づくりの活動 ③生活利便性向上

☆里づくり活動

- ・都市農村交流活動(田植え体験・花摘みイベント等)、里山整備(散策道整備等)、伝統文化の保存・継承等の活動をおこなっている。

☆耕作放棄地と有害鳥獣対策

- ・耕作放棄地 H29年…遊休農地 80ha、保全管理地 426ha 農地の復元支援（5～10万円/10a）
- ・有害鳥獣被害 年間 3,000 万円の被害→営農意欲の減退や耕作放棄地に増加
- ・有害鳥獣対策 捕獲の強化…令和 2年 イノシシ(1,206頭)、アライグマ(1,749頭)、シカ(57棟)
有害鳥獣捕獲員の育成・確保、侵入防止柵の設置、バッファゾーン整備等を行っている。

☆神戸里山暮らし(移住・定住対策)

- ・豊かな自然があり、都心との距離が近いのが、神戸ならではの里山暮らし。都心への通勤通学も可能。
- ・定住願望者は増えている。 2004年調査 20.6%→2014年 31.6%（関心がある+どちらかというところある人）
コロナ後は、2019年 28.0%→2021年 4月 38.1%（強い関心+関心+やや関心がある人）と増加

- ・地方移住への関心理由（2021年6月内閣府調査）

- ①人口密度が低く自然豊かな環境に魅力(35.1%)
- ②テレワークによって地方でも同様に働ける(25.4%)
- ③ライフスタイルを都市部での仕事重視から地方での生活重視に変えたいため(21.7%)

- ・都市計画法の規制緩和（開発許可基準の緩和）

住宅の許可基準の緩和・里づくりの拠点施設の運用基準の緩和（農家レストラン等が可能に）・
世帯分離住宅の適用拡大・農村定住起業の促進・移住者用住宅の新築可 など

- ・農地法の規制緩和（農地取得の基準） 農地を取得できるのは農業者のみであったが、

- ①空家に付随する小規模農地（1,000㎡未満）の取得が誰でも可能に。
- ②神戸ネクストファーマー制度による小規模農地の借り受が可能に。100時間程度の研修は必要。

- ・支援策

農村定住促進コーディネーター……移住・起業相談、空家等の情報収集、希望者と地域のマッチング 等
里山暮らし web サイト……「神戸・里山暮らしのすすめ」<http://kobe-satoyama.jp/>

空家バンク……H28.5～R3.6 39件成約 利用登録者累計 624名

改修支援……定住起業者に対し、費用の1/3 100万円まで。子育て世帯は1/2 200万円まで

住宅の家財整理……費用の1/2 10万円まで などを行っている。

新規就農者への支援……ファーマーズマーケットの開催 就農促進コーディネーターの設置

就農実践ファームの設置支援……農家後継者や新規就農者に貸与する園芸施設
を設置する事業者への支援

- ・空家の状況 197戸（平成30年 里づくり協議会へのアンケートより）

空家はあるものの、①相続登記がされていない。②盆と正月に利用 ③傷みがひどい

④所有者の理解が得られない 等により、空家バンク掲載に至っていない建物が多い。

- ・農地バンク 143件掲載（R3.9.25現在）

- ・移住・起業の状況 実績 95件（H27～R2）……北区 59件、須磨区 1件、西区 35件

起業事例…「ローゼンファームズ カフェ」伊川谷町前開下・食事、「はぜ晴の里」蘆谷町池谷・うどん

移住者例…のびのびと子育てしたい。農業をしたい。自然に囲まれて生活したい。古民家に住みたい。

- ・移住にあたって

移住の目的を家族で話し合い、必要な情報を集めたいうえで、コーディネーターや地元の人と知り合いになり、顔の見える関係になってから移住するようにしてほしい。



◆意見交換

◇農業を一般に解禁しては

※H21年より企業も参入できるようになった。ただ、企業は大規模経営でないとやらない

酒造会社が米づくりをしている例もある。神戸市では法人ができた。

神戸農政公社では、ブドウの剪定作業をする「1日サポーター」を急募中！

◇農業は人手をどう確保するかが課題。ただ、給料の額がネック。

常時必要・時々必要・一時に必要と作物で人手の必要形態が異なる。

詳しくは「神戸ワイナリー」のHPをご覧ください。

雇用関係でないゆるい形態ができるといいのだが。

高齢者パワーをうまく活用できれば…。

西神ニュータウン研究会

〒651-2103 神戸市西区学園西町 1-1-1 UNITY内

TEL : 078-794-4970 FAX : 078-794-4910

ホームページ : <https://seishin-ntken.net>